

No.49
2025



KARUIZAWA

NATIONAL TRUST

軽井沢ナショナルトラストだより



ごあいさつ

昨年は創立30周年を無事に迎え、シンポジウム・交流パーティーと多くの皆さまにご参加いただき誠にありがとうございました。シンポジウムでは、歴史的建造物を生かした取り組みの実例を官民から学べる機会を提供いたしました。少し見づらいですが、KNTのFacebookでも映像を3部構成で公開しておりますので、もしお時間許せばご閲覧下さい。

31年目に向かって進む当会ですが、今後は更なる飛躍のためにも同じ役職をやり続けるのは会にとって成長の機会を失いプラスにはならないと考え、代表理事の役職はまた別の方に托す予定でおります。松岡温彦前会長からバトンを渡され、3期（6年）にわたって多くの皆さまに支え続けて頂き誠にありがとうございます。引き続き、軽井沢ナショナルトラストの活動にご支援、ご期待下さい。

2024 年度代表理事 柴崎雅寿

CONTENTS

代表挨拶	2
軽井沢ナショナルトラスト 30 周年特集	3
30 年の歩み	4
30 周年記念イベントレポート	7
春の別荘ウォッチングレポート	8
ヴォーリスネットワーク報告	10
2024 年度活動報告	11

KARUIZAWA NATIONAL TRUST 30th ANNIVERSARY

創立 30 周年記念特別号



旧軽井沢銀座通りで観光会館として利用されていたころの明治四十四年館。

旧軽井沢銀座通りで 80 年以上、避暑地の移り変わりを見守り続けた旧軽井沢郵便局舎。

1992 年に解体の話が持ち上がり、現地での保存を目指した 4 人の地元町民が「別荘建築等保存調査会」を結成しました。

その 2 年後の 1994 年 10 月 22 日、軽井沢ナショナルトラストが正式に誕生。歴史ある別荘の魅力と価値を伝え続け、この 30 年間で「ただの古い建物」から「軽井沢のヘリテージ」という概念へと変わってきました。

これからも活動を続け、軽井沢の歴史的建造物を未来へと受け継いでいく。節目となる今号では、これまでの歩みを振り返ります。

軽井沢ナショナルトラスト 30年の歩み

1994

- 10/22 軽井沢ナショナルトラスト発足式
記念講演「暮らしやすいまちづくりとナショナルトラスト」
講師 西村幸夫
- 第 1 回別荘ウォッチング「軽井沢の別荘建築を訪ねて」

1995

- 3/1 会報紙「軽井沢ナショナルトラストだより」第 1 号発行



1994 年から別荘ウォッチングをスタート。

- 別荘ウォッチング「軽井沢の別荘建築を訪ねて」
- 別荘ウォッチング、交流会「軽井沢の別荘建築ウォッチング」
- 軽井沢ナショナルトラスト写真 & 版画展（白樺堂ギャラリー）「軽井沢を物語る別荘建築群」
- 別荘ウォッチング & 講演会、交流会 「軽井沢の別荘建築ウォッチング」、講演「軽井沢リゾートの発生と特色」講師 宮原安春
- 軽井沢駅舎測量（委託先—信州大学・土本研究室）

1996

- （社）日本ナショナル・トラスト協会「団体正会員」に加盟
- どんぐりの木植樹（町内 3 ヶ所）
- 別荘ウォッチング（愛宕山周辺の別荘）
- 軽井沢ナショナルトラスト写真展（軽井沢ベルコモンズ）
- 緑陰セミナー（明治四十四年館） 講演「軽井沢におけるヴォーリス建築」講師 山形政昭
パネルディスカッション、交流会
- 別荘ウォッチング & 交流会 「来日 90 周年ヴォーリス建築の足跡を訪ねて」
- （社）日本ナショナル・トラスト協会全国大会参加（横浜）

1997

- 別荘ウォッチング & 交流会「軽井沢の別荘 60 選より～明治・大正の建築を訪ねて」



室生犀星別荘を見学。

- 緑陰セミナー（明治四十四年館）「軽井沢あめりか屋建築」見学ツアー、講演会、交流会
講演「軽井沢のあめりか屋建築」講師 内田青蔵
- 別荘ウォッチング & 交流会「別荘 60 選から～大正・昭和の建築を訪ねて」

1998

- 別荘ウォッチング 『軽井沢の歴史的建築ウォッチン



軽井沢ナショナルトラスト発足式で挨拶をする中島会長（当時）。

グ」町民対象

- 別荘ウォッチング & 交流会「カナダ人宣教師たちのゆかりの別荘を訪ねて」
- 展覧会「建築家レーモンドと軽井沢」（軽井沢セミナーハウス）、緑陰セミナー
- 別荘ウォッチング「レーモンド建築見学会」講演「建築家レーモンドと軽井沢」講師 三沢浩、交流会
- 別荘ウォッチング & 交流会「軽井沢初期の建築—軽井沢バンガローを見る」

1999

- 別荘ウォッチング（町民対象）
- 別荘ウォッチング「愛宕山周辺に建つ大正の別荘を中心として」
- 8/1 プレ・ショー祭 「宣教師ショーを語る」講師 中島松樹、宮原安春



プレショー祭にて中島会長（当時）と佐藤町長（当時）

- 創立 5 周年記念事業「避暑地軽井沢の先人と皇室の足跡を訪ねる」、市村記念館見学、建築遺産選集写真展（ギャラリー桐万）、講演会「天皇・皇后はなぜ軽井沢を好まれたか」講師 宮原安春（中軽井沢駅貴賓室）、交流会
- （社）日本ナショナル・トラスト協会全国大会参加（鎌倉）

2000

- 別荘ウォッチング（町民対象）
- 別荘ウォッチング「明治 34 年（絵地図）の軽井沢をめぐる」
- 8/1 ショー祭 2000「宣教師ショーを語る」講師 垣内茂
- 別荘ウォッチング「作家たちの思索の径を訪ねて〈千ヶ滝、軽井沢周辺〉」

2001

- 別荘ウォッチング（町民対象）
- 別荘ウォッチング「愛宕山 900 番台別荘付近からオルガンロックへ」
- 8/1 ショー祭 2001「日本人別荘が初めてできた頃」講師 八田裕忠
- 藤本宿版画展（ギャラリー蔵）
- 別荘ウォッチング「独自の別荘文化を守る南原文化会を訪ねる」

2002

- ショー師ゆかりの地を訪ねて （没後 100 年記念—墓参など）
- 別荘ウォッチング（町民対象）
- 別荘ウォッチング 「歴史の舞台・軽井沢三笠に生きた人々の足跡をたどる」
- 8/1 ショー祭 2002 「軽井沢の魅力について～軽井沢を愛した尾崎行雄夫妻を語る」講師 相馬雪香、宮原安春
- 「避暑地軽井沢の建築遺産」選定建築専門委員会開催
- 別荘ウォッチング 「近藤友右衛門、野沢源次郎、両人の足跡と秋の自然遊歩道を歩く」

2003

- 別荘ウォッチング（町民対象）
- 別荘ウォッチング 「愛宕山の別荘建築遺跡～土管の煙突と境界石ウォッチング～」
- 8/1 ショー祭 2003「軽井沢万平ホテル 110 年」講師 佐藤泰春
- 軽井沢町文化財専門委員に委嘱される（中島会長、大久保副会長、松岡副会長）
- 別荘ウォッチング & 講演会、交流会 講演「英国ナショナル・トラストの精神と活動」講師 吉田新一（ホテル・メゾン軽井沢）
- 近江八幡訪問（役員）

2004

- 別荘ウォッチング（町民対象）
- 別荘ウォッチング 「桜の沢、釜の沢周辺の別荘建築遺跡～土管の煙突と境界石ウォッチング～」
- 8/1 ショー祭 2004「ノーマン親子と軽井沢」講師 塩入隆
- 創立 10 周年記念式典 & シンポジウム（万平ホテル）第 1 部シンポジウム「避暑地軽井沢の原点を探る」



上／創立 10 周年のシンポジウムで。右から星野佳路さん、大原一興さん、松岡温彦さん。下／記念祝賀会で挨拶する中島会長（当時）。

第 2 部未来サロン「美しい村へのシナリオ」

第 3 部記念祝賀会

2005

- 「ショーさん物語」贈呈式・出版記念パーティー（ホテルプレストンコート）
- 「ショーさん物語」原画展（軽井沢レトロ館）
- 別荘ウォッチング「桜の沢周辺の別荘建築遺跡 ～

- 土管の煙突と境界石ウォッチング パート II～」
- 新企画 トラストアカデミー「別荘物語」、7/9 トラストアカデミー「歴史の道」
- 8/1 ショー祭 2005「軽井沢とヴォーリス」講師 奥村直彦
- 「一粒の会」一行が来軽
- 別荘ウォッチング（町民対象）

2006

- ヴォーリス建築文化全国ネットワーク設立準備フォーラム
- 「歴史の道」の道標設置 設置者：軽井沢観光協会 協力：軽井沢ナショナルトラスト
- 別荘ウォッチング（町民対象）
- 6/17、7/15、9/16、10/21 トラストアカデミー「外国人墓地に眠る先人」
- 別荘ウォッチング 「幻のオーステンホテルを探せ！～土管の煙突と境界石ウォッチング パート III～」
- 三笠ホテル 100 年祭 関連事業 別荘散策会
- 8/1 ショー祭 2006「避暑地・軽井沢 120 年 ショー師を語る」講師 関屋友彦
- 別荘ウォッチング



長きにわたり、軽井沢高原ビールから寄付金を受けた。写真は贈呈式の様子。

2007

- ヴォーリス建築文化全国ネットワーク設立記念フォーラム（軽井沢ユニオン・チャーチ）、ヴォーリス建築を巡る見学会（旧軽井沢）
- 6/16、7/21、9/15 トラストアカデミー「避暑地軽井沢の誕生・・その前後を探る」

- 別荘ウォッチング「外国人墓地に眠る宣教師たち」ゆかりの地を巡る
- 避暑地軽井沢 120 年記念「軽井沢外国人墓地」刊行
- 三五荘（中央工学校軽井沢山荘）、旧田中角栄家別荘 国登録有形文化財に
- 8/1 ショー祭 2007「鉄道人 本間英一郎を語る」講師 小林さえ
- 別荘ウォッチング「軽井沢三笠・歴史の舞台の地を巡る」
- 軽井沢景観研究会議『保養地の景観を考える』「軽井沢の別荘建築の姿容」パネルディスカッション

2008

- 「ウィリアム・メレル・ヴォーリス展」軽井沢町歴史民俗資料館、資料提供、朝吹山荘移築復元工事ビデオ上映
- 広報かるいざわ 表紙担当 「シリーズ 保健休養地軽井沢の近代建築」写真と解説
- 旧鈴木歯科診療所（片岡山荘）、明治四十四年館（旧軽井沢郵便局舎）国登録有形文化財に
- アントニン＆ノエミ・レーモンド展（高崎市美術館）「軽井沢でのレーモンド建築見学ツアー」
- 国際景観会議 2008・軽井沢『保養地と自然との関わり』、旧軽井沢歴史散策ガイド
- 別荘ウォッチング「避暑地軽井沢におけるヴォーリス建築めぐり」
- 8/1 ショー祭 2008「ウォーラー司祭と軽井沢」講師 小林史郎
- 「軽井沢のヴォーリス建築をめぐる散策会」軽井沢町歴史民俗資料館
- ヴォーリス建築文化全国ネットワーク総会・フォーラム（神戸女学院、関西学院大学）

2009

- 軽井沢ナショナルトラスト 新パンフレット作成・配布
- 「ウィリアム・メレル・ヴォーリス展」
- バスツアー「ヴォーリス建築を訪ねる 新緑の軽井沢」（パナソニック電工 汐留ミュージアム主催）
- 5/23、7/11、9/12 トラストアカデミー「明治時代に著された軽井沢案内記」

- 別荘ウォッチング「愛宕山 900 番別荘付近を歩く」
- 8/1 ショー祭 2009「A.C. ショーと福沢諭吉」講師 白井堯子
- 「ウィリアム・メレル・ヴォーリス展 in 近江八幡」《ヴォーリスさんと軽井沢》（酒遊館）写真提供
- 別荘ウォッチング「旧軽井沢（桜の沢・釜の沢付近）を歩く」
- ヴォーリス建築文化全国ネットワーク総会・フォーラム（ヴォーリス平和礼拝堂 近江兄弟社学園本館）
- 「軽井沢ツーデーウォーク 2009」（軽井沢ツーデーウォーク実行委員会主催）、「軽井沢を学ぶ」解説 / プレミアムウォーク案内



夏に交流会が開催されたことも。

2010

- 「軽井沢検定公式テキストブック」刊行 第 5 章「軽井沢の別荘建築」執筆協力
- 第 1 回「軽井沢検定」実施
- 6/19、7/17、9/18 トラストアカデミー「避暑地軽井沢の別荘史、明治時代の軽井沢の建築」
- 別荘ウォッチング「〔旧〕軽井沢駅舎記念館 & 旧碓氷線アパート式の道を歩く」
- 8/1 ショー祭 2010「祖父、野沢源次郎と近藤友右衛門を語る」講師 西邑二三子
- 「甕った歴史的建造物～睡鳩荘の移築と復元～」展示（軽井沢タリアセン「朝吹山荘」）
- ヴォーリス建築文化全国ネットワーク総会・フォーラム（北見芸術文化ホール）

創設者からのメッセージ

軽井沢ナショナルトラスト 30 年を振り返って

藤巻 進

軽井沢において最初に歴史的建造物の価値を唱えたのは建築史家の宍戸実氏です。A・レーモンドの「夏の家」（国重要文化財）の保存も氏あってこそと、その功績に感謝をしたい。軽井沢 N・T 創設の中島松樹、大久保保、広川小夜子の三氏、そして私も少なからず、宍戸氏の薫陶を受けたものと考えています。軽井沢での歴史的建造物保存は大変に難しく、別荘としての機能を失えば、現地保存はほとんど不可能に等しい。トラスト30年の歩みはそのほとんどが活動からの情報発信でしたが、圧倒的な量の発信によって、多くの人々が軽井沢の歴史に価値を見出すきっかけを作ったものと自負しています。

真のトラスト活動を望む

広川 小夜子

1994 年に創立した当時の目標は英国ナショナルトラストのように文化遺産としての建造物の保存ということだった。それを期待して多くの人が会員になってくれた。中島松樹さんの豊富な知識で別荘の調査は進み、その結果ブループラークに認定された功績は大きい。しかし30年の中で積極的に保存活動をしてきたのかというと実に消極的だったと言わざるを得ない。スイス公使館別荘も三井三郎助別荘も川端康成別荘も KNT として保存活動は何もしなかったに等しい。貴重な建物が現存することがどれほど価値のあることかは会員もわかっている。今後は様々な方策を検討し積極的にトラスト活動を行うことを期待したい。



中島松樹元会長らが旧郵便局舎の保存を町長に申し入れた。

●別荘ウォッチング「100 年前の宣教師館を訪ねる ～愛宕のヘール別荘等～」

2011

- 別荘ウォッチング「旧軽井沢周辺の散策」
- 8/1 ショー祭 2011「浅間山遭難から 100 年 牧師ヘール氏を悼む」講師 井柳福次郎
- 避暑地軽井沢 125 周年記念講演会・交流パーティー（万平ホテル）
- ヴォーリス建築文化全国ネットワーク総会・フォーラム（明治学院白金キャンパス）
- 別荘ウォッチング「旧サロモン別荘とその周辺をたずねる」

2012

- 6/16、10/7 トラストアカデミー「旧軽井沢周辺の滅失した別荘」
- 別荘ウォッチング「旧軽井沢周辺の滅失した別荘をたどる」
- 「三井三郎助別荘と三泉寮展」（ショーハウス記念館）
- 8/1 ショー祭 2012「三井三郎助と三井別荘を語る」講師 増淵宗一
- 「夢の風景 軽井沢 トム・ハール写真展」（軽井沢観光会館）
- 「軽井沢の名建築写真展 ～ノスタルジック軽井沢～」（軽井沢タリアセン「朝吹山荘」）
- ヴォーリス建築文化全国ネットワーク総会・フォーラム（関西学院会館）
- 別荘ウォッチング「軽井沢別荘建築 滅失別荘をたどる その 2」、交流会（旧軽井沢カフェ「涼の音」<旧サロモン別荘>）

2013

- 軽井沢文化財歴史的建造物マップ 発行
- ヴォーリス建築文化全国ネットワーク総会・フォーラム（京都大学 YMCA 地塩寮）
- 別荘ウォッチング「軽井沢別荘建築 滅失別荘をたどる その 3」
- 8/1 ショー祭 2013「日本聖公会中部教区 100 周年と J.C. ロビンソンの生涯」講師 大江真道
- 10/12 トラストアカデミー「旧軽井沢周辺の滅失した別荘」
- 亜武巢山荘**（旧アームストロング山荘）ハウスウォームアップパーティー



亜武巢山荘でのパーティー

- 別荘ウォッチング「軽井沢別荘建築 滅失別荘をたどる その 4」
- 旧ライシャワー家別荘、旧軽井沢ハウス（旧松方家別荘<旧サロモン別荘>）国登録有形文化財に

2014

- 軽井沢町文化財歴史的建造物マップ英語版 発行
- 旧加藤家別荘 国登録有形文化財に
- 亜武巢山荘**（旧アームストロング山荘）会員ボランティアによる大掃除
- ヴォーリス建築文化全国ネットワーク総会・フォーラム（関西学院大学神学部チャペル）
- 別荘ウォッチング「追分宿散策」
- 亜武巢山荘**（旧アームスト



ロング山荘）国登録有形文化財化へ文化審答申

- 8/1 ショー祭 2014「近江ミッションのヴォーリスさんの話」講師 芹野与幸
- 10/25 創立 20 周年プレ・パーティ（軽井沢タリアセン）



20周年記念のシンポジウムで。右から藤巻進さん、中島松樹さん、大久保保さん、松岡温彦さん、土屋芳香さん。

2015

- 創立20周年記念パーティー開催
- 軽井沢観光協会主催の軽井沢 WEB 検定問題作成の協力

2016

- 町内の歴史的建造物を調査し、軽井沢ブループラークに町へ推薦
- 第10回記念 ヴォーリス建築文化全国ネットワーク in 軽井沢 ヴォーリス建築文化全国ネットワークと共催
- 三笠別荘ウォッチング

2017

- 歴史的建造物ウォッチング ～八田別荘内部見学と「美しい村」の径を散策～
- ワークショップ 2017 秋 ～紅葉に染まる「雲場池」と「御膳水」を散策～
- 町内の歴史的建造物を調査し、軽井沢ブループラークに推薦

2018

- KNT 関係者「日本建築学会賞」を受賞
- 「早稲田大学大学院社会科学部研究科」案内。八田別荘、亜武巢山荘を見学
- 「レーモンド建築新スタジオ内部見学会」開催
- 「建築家 アントニン・レーモンドと私」講師：北澤興一氏

2019

- レーモンド新スタジオ見学会
- 秋の別荘ウォッチング、旧軽井沢を中心に桜の沢・陣馬周辺を見学

2020

- 創立25周年記念イベント「私だけの軽井沢ブループラークを巡る建築写真展」（軽井沢駅2階、観光振興センター）
- トラストアカデミー 2020「軽井沢資料から歴史・文化を学習～」講師：浅井潤氏、「追分ぶらり文芸散歩」斎藤尚宏氏

2021

- 「ボールジャクレー、もうひとつの歌麿」クリスチャンボラック氏講演会に協力

2022

- 「軽井沢タリアセン歴史的建造物探訪」
- 同志社所有シーモアハウスの軽井沢彫家具調査

偲ぶ



軽井沢ナショナルトラスト
名誉会長
中島松樹さん

古い別荘が壊され消えていくことへ強い危機感を持ち、軽井沢ナショナルトラストの創設時から尽力した中島松樹さん。初代会長に就任し、2014 年まで 20 年間にわたり当会を牽引してくれました。軽井沢の歴史への興味、保存調査への熱い想い、そして誰よりも豊富な知識。中島名誉会長の存在があったからこそ、当会が今日まで発展し継続してきました。



軽井沢ナショナルトラスト
三代目会長
松岡 温彦さん

建築や文化への深い造詣を活かし、当会を盛り立ててくださった松岡さん。創設の初期からご夫婦で会員として様々な活動に参加、多くの若手の会員からも慕われていました。建築学会賞の受賞や一般社団法人化など、当会の飛躍に多大な貢献をされました。

- 高川邦子氏講演会「太平洋戦争と軽井沢の外国人」
- 万平ホテル散策

2023

- 軽井沢ブルー・ブラーク ウォーク in 追分
- 第 24 回軽井沢ショー祭 2023
- 町長出前講座
- 秋の特別企画 キンケ滝別荘地とキンケ滝学園の歴史

2024

- 夏の特別企画 旧ヴォーリス山荘（旧浮田山荘）と亜武巢山荘建物見学会
- 8/1 第 25 回軽井沢ショー祭 2024
- 創立 30 周年記念シンポジウム・交流パーティー（明治四十四年館）シンポジウム「文化・歴史資源を生かした観光振興」講師：打田剛氏、「歴史ある建物を活用したまちづくりとファイナンス」講師・岡嘉紀氏、「軽井沢町内の歴史ある建物の活用事例」講師：川井加世子氏



30 周年記念イベントレポート

報告者・斎藤尚宏

（第 1 部）シンポジウム 13:30 ～ 15:30

(1)「文化・歴史資源を活かした観光振興」（内容）歴史的建物などを活用した事例、考え方を俯瞰的に学ぶ。

（講師）観光庁観光資源課 文化・歴史資源活用推進室 室長 打田剛 氏

(2)「歴史ある建物を活用したまちづくりとファイナンス」

（内容）「WAKUWAKU やまのうち」等の具体的事例の仕組みを学ぶ。

（講師）岡嘉紀地域経済活性化事務所株式会社 岡嘉紀 氏

(2)「軽井沢町内の歴史ある建物の活用事例」（内容）軽井沢町内の歴史建造物活用の立地や条件、用途が多岐にわたる事例紹介。

（講師）川井加世子氏

（第 2 部）交流パーティー 15:30 ～ 17:00



上／軽井沢ナショナルトラストの原点となった明治四十四年館で開催された。
下／歴史的建造物の活用例を説明する観光庁の打田剛さん。

春のイベントレポート 別荘ウォッチング ヴォーリズ建築見学会 IN 旧軽井沢

報告者・荻野暢雄、中嶋朋子



軽井沢会テニスコート脇を通り集会堂へ

2024年6月13日、関東甲信地方の梅雨入り予想が1週間後と発表された当日、初夏の貴重な晴天に恵まれ、KNT 会員待望のヴォーリズ山荘（旧浮田山荘）ほかヴォーリズ建築見学会が開催されました。

当日は一柳満喜子・ヴォーリズ夫人のご親族一柳由美子氏、邦久氏ご夫妻を始め、各地でヴォーリズ建築写真展「VORIES TIME」を開催する写真家の桃井一至氏（ヴォーリズ学園出身）、株式会社一粒社ヴォーリズ建築事務所の佐々木真氏にもご参加いただき、KNT 会員を中心に 30 人以上の参加者という大盛況の見学会となりました。

午前 9 時半に旧軽井沢のユニオンチャーチで集合、ヴォーリズの簡単な経歴等を紹介するガイダンスののち、建物の外観を見ながら、ユニオンチャーチとヴォーリズの関係、建物の歴史について解説を受けて次のヴォーリズ建築へ移動しました。

途中、軽井沢会テニスコート・クラブハウスの外観を見ながら向かったのは、同じく軽井沢会の「集会堂」で、同会のご厚意で建物内部の見学も含め、所長の田嶋正晴氏にガイドをしていただきました。会員以外は通常立ち入ることのできない集会堂の内部を見学するという貴重な機会に恵まれ、参加者も興味深く田嶋氏の解説に耳を傾けていました。

今回は当初想定していた人数を超えての参加申込みがありましたが、「ヴォーリズ山荘」及び「亜武巢山荘」については、小さな建物を一斉に見学することを避け、軽井沢会集会堂見学後、2つのグループに分かれ、A グループはヴォーリズ山荘、B グループは亜武巢山荘へ先に向かい、それぞれ最初の建物の見学が終わった後に、もう一つの建物へ移動して見学するという形が功を奏し、室内の見学もスムーズでした。



左上／軽井沢会集会堂 右上／集会堂内で解説を聞く参加者 左下／ヴォーリズ山荘の庭で川井夫妻と 右下／川井夫妻

ヴォーリズ山荘（旧浮田山荘）では、2023 年に新たにこの家のオーナーとなった川井加世子氏、ニール・カンタ・セレスト氏の夫妻が出迎えてくださり、この家との出会いや改修工事のご苦労についてお話をしてくださいました。両氏は、避暑地軽井沢の原風景ともいえるこの家や周囲の環境を大切に残していきたいと語られ、改修工事を経て素敵な家を蘇らせた喜びは、見学者全員に伝わったことと思います。

一方の亜武巢山荘に辿り着くためにはかなりの急坂を登るのですが、参加者は全員、音をあげずに登りきって、現使用者の三浦氏の歓迎を受けました。「山荘の中は自由に見てください」との言葉に、皆さん素直に上へ下へと積極的に見学。終盤、三浦氏から一階のリビングにある軽井沢彫ダイニングテーブルの秘密をご披露いただきました。テーブルの天板を持ち上げるとソファに早替わりするという仕掛け。しかも、背板の富士山と桜の彫は現在

ではあり得ない逸品に、皆さん一斉にカメラをかざします。

この山荘が建てられた頃には見下ろす一帯に高い木はなく、走る汽車を見ながら猫足のバスタブに浸かるのが楽しみだったそう。そんな宣教師の往時のヴォーリズ山荘ライフの一コマを想像しながら、急な坂道を、今度は転げ落ちないようにと、皆さん慎重に和気藹々と下っていきました。

見学会終了後、13 時頃から川井夫妻の経営する Sajilo-Café Forest で参加者の親睦も兼ねたランチ懇親会が開かれました。参加された皆さんからは「見学会は良かった」との感想が多数聞かれ、今回の企画が皆さんに喜んでもらえたことは、KNT スタッフ一同にとっても大きな喜びでありました。

ヴォーリズ山荘オーナーの川井夫妻始め、このイベントにご協力いただきました全てのスタッフ、関係者、参加者の方に御礼を申し上げます。ありがとうございました。

ヴォーリス建築文化全国ネットワーク、2024 年度全国大会

報告者・弓削康史



左／「ヴォーリス・ヒルズ」を提唱する田淵結氏 右／関西学院大学・聖和キャンパス内の建物ツアー

「ヴォーリス建築文化全国ネットワーク」が2024年6月29日と30日に年次大会を開いたのは、兵庫県西宮市内の高台に広がる関西学院大学のキャンパスでした。

本誌「軽井沢ナショナルトラストだより」で昨年(第48号)その再生過程が詳しく紹介された、ウィリアム・メレル・ヴォーリス夫妻の軽井沢別荘が建てられたのは1922(大正11)年のこと。関西の暑さを逃れて軽井沢で過ごす夏の間、この山荘でヴォーリスが取り組んでいた大きなプロジェクトのうち3件は、現在の西宮市で計画中のキリスト教系の学園でした。

まず関西学院大学は上ヶ原地区に1929年から、時計台で知られる旧図書館(現在は歴史博物館)などの建物を次々に完成。その後3、4年の間に「神戸女子神学校(後に聖和女子大学)」や「神戸女学院(後に神戸女学院大学)」の建物群が、そこから東南2キロ以内の岡田山エリアに次々に誕生しました。文化財指定を受けたものも含め、多くのヴォーリス建築が並んでいます。

その中でも今回、全国大会の参加者が集まった「聖和キャンパス」は同大学の教育学部。ここは2009年に関西学院大学が聖和女子大学と合併して誕生した新しいキャンパスです。基調講演で、上ヶ原から岡田山にかけての一带を「ヴォーリス・ヒルズ」と呼んで紹介したのは、関西学院の田淵結・元学院長。「ヴォーリス建築がこれだけ多く集まっている場所は他にないのです」(田淵氏)。

聖和キャンパス内の見学ツアーでは、ヴォーリスが1920年代にデザインした建物群と並んで違和感が少ないように、様式的な意匠を取り入れた近年の建築デザインの工夫にも気づかされました。

ところで関西学院大学は2021年に建築学部を新設しましたが、他の建築学部にはない大きな特徴は「ヴォーリス研究センター」を持つことです。ヴォーリス設計の1400ともいわれる案件のうち、今も200以上が歴史的建築物として現存。同研究センターでは資料のデジタルアーカイブ化を進めるとともに、新たな視点と手法でヴォーリス研究を深化させ、ヴォーリス建築を通じた教育貢献・地域貢献を推進することも目指しています。

築95年の現役ヴォーリス住宅

関西学院大学上ヶ原キャンパスの一角に、ヴォーリスは10棟の宣教師住宅を建てました。写真は学院ミュージアムに展示されている模型で1990年代以前の景観。手前6棟のうち4棟は近年、研究室棟などの新築のために解体されましたが、合計6棟(写真外を含む)が現存しています。いずれも総2階建てのゆったりした洋館で、竣工から95年経った現在も外国人教員用住宅(3棟)、賓客用ゲストハウスや会議室棟として使われています。



軽井沢ナショナルトラスト 2024 年度の活動実績

6月 1日：軽井沢ショー祭実行委員会第1回打合せ

6月 14日：(一社) 軽井沢ナショナルトラスト令和6年総会

6月 15日：旧ヴォーリス山荘(旧浮田山荘)と亜武巢山荘建物見学会

6月 29日：2024年ヴォーリス建築文化全国ネットワーク全国大会 参加

7月 3日：軽井沢ショー祭実行委員会第2回打合せ

7月 8日：軽井沢ショー祭、軽井沢駅コンコースバナー付け

8月 1日：第25回軽井沢ショー祭2024

9月 8日：旧軽井沢の景観意見交換会 参加

9月 28日：ヴォーリスツアー&講演会 軽井沢幼稚園主催 参加

10月 19日：(一社) 軽井沢ナショナルトラスト創立30周年記念シンポジウム・交流会パーティー

12月 2日：住宅建築の亜武巢山荘取材対応



2024 年ショー祭



30 周年交流パーティー

編集後記

1990年代、バブル経済による地価高騰の波は軽井沢にも押し寄せ、土地が高値で売買されるような時代。軽井沢の静かな別荘地も投機ゲームのターゲットとなり、昔ながらの別荘が次々と売られ壊されていく。旧いものを壊し、新しく作ることを良しとした風潮の中、歴史的なものに価値があると唱え、守ろうと声を上げることはどれほどの熱量が必要だったのか。そしてその価値観を維持しながら、30年間、活動続けることにどれほど多くの人の力が必要だったか。今回の編集作業は、当たり前ながらも「先人への感謝と尊敬」をひたすら感じる時間となりました。

コロナ禍以前から続いている軽井沢の不動産バブルは、今再び、あの頃のような様相を呈しています。代々の別荘が壊され、ところ狭しと家が建つ…。その一方で、古い建物だからこそ、大切に受け継ぎたいと必死に守っている個人所有者も多々いらっしゃいます。今、軽井沢ナショナルトラストが出来ることは何か、そんなことを考えさせられます。

1994年に誕生した当会は、メジャーリーガー大谷翔平選手とも同年輩。31年目の今年、大谷選手に倣ってなにかしらの活躍ができればと、一会員として微力ながらに決意した号となりました。

最後に、ご多忙の中で執筆に時間を割き、今号にご寄稿下さった皆様に感謝申し上げます。

会報編集担当・広川美愛



会員募集

- 一般会員 入会金 2,000 円
年会費 3,000 円
- 賛助会員 年会費 30,000 円（一口）
- 振込先
郵便振替口座番号 00570-7-102239
名称 一般社団法人 軽井沢ナショナルトラスト
ゆうちょ銀行 059 店 当座 102239

軽井沢ナショナルトラストだより 第 49 号
2025 年 5 月発行
発行・軽井沢ナショナルトラスト

軽井沢ナショナルトラスト事務局

〒389-0102
長野県北佐久郡軽井沢町長倉 2380-27（軽井沢新聞社内）
メール：karuizawant@gmail.com
ホームページ：<https://www.facebook.com/KNT.JP>

本会報の文章・画像等の無断使用・転載を禁止します